



# 信楽中学校校報

令和3年度 第8号

(令和3年12月23日発行)

## 「学校に入ったら、なんだかぬくい(あたたかい)感じがする。」

今年も残りわずかとなりました。今年は皆さんにとってどんな年でしたか。しっかりと振り返り、この年をしめくくりましょう。

さて、12月2日、3日の2日間、町内の民生児童委員・主任児童委員・学校評議員・少年補導委員の皆さんに、学校を見ていただきました。

生徒会健康委員会とコラボして朝のあいさつ運動、消毒指導、そして、朝読書から1時間目の授業の様子を見ていただきました。その後、参加いただいた方と懇談をしました。

学校の様子を見学いただいた感想をお一人ずつ話していただいたのですが、ある方はこんな話をしてくださいました。

「消毒指導の場所に立ちましたが、2～3人生徒の様子を見ただけで、ふだんの学校の様子を想像することができました。素直な声や態度で、挨拶をかわせる雰囲気がいいですね。」

また、ある人は、「学校に入ったら、なんだかぬくい(あたたかい)感じがしました。」と言われました。もちろん気温のことを言っておられるのではありません。信楽中学生が、その生活ぶりや態度で作る上げる空気が、人の気持ちをなんだかあったかくさせるように感じてくださったということです。

先生は、その言葉を聞き、とてもうれしい気持ちになりました。信楽中の生徒と先生で、保護者や地域のみなさんの応援を得ながら、「温かい学校を作りたい」、「安心して過ごせる学校になりたい」、「持っている力をすくすくと伸ばせる学校になりたい」、そんな思いで、みんなで取り組んできたことが少しずつ成果となってあらわれてきていることを確信しました。

「人として、社会に認められる力をつける。」みなさんもその目標に向け、確実に階段をのぼれていることに自信を持ち、決して後戻りしないことを心に誓って生活してほしいと思います。



## 2学期の学習や活動から

### 韓国・利川（イチョン）市中学生とのオンライン交流

12月6日（月）本校生徒会本部役員11名が、甲賀市の姉妹都市である韓国・利川市の養貞（ヤンジョン）女子中学校、大月（テウオル）中学校の生徒会本部生徒13名とオンラインによる交流を行いました。

これは、甲賀市の中学生交流事業の一環として実施されたもので、このご時世に相互に訪問しての交流ができない代わりに、オンラインでの交流が企画され、利川市とのかかわりが深い信楽町（信楽中）が選ばれたことにより実現し

ました。お互いに学校や町の様子を紹介したプレゼンを行い、その後、お互いに質問に答えあう形で、楽しいひと時を過ごしました。

【参加者感想より】

- ・ 韓国の学校の様子と日本の学校の様子で違ったところが多くて、面白かったです。
- ・ 日本や信楽にはない文化を知ることができ良かった。



- ・ 韓国の中学校の様子が分かって良かった。校舎がカラフルなことが印象的だった。オンラインを通して交流でき楽しかった。
- ・ 日本語での自己紹介がすごかった。すごく日本に興味を持ってくれていると感じた。
- ・ 共通の話題でもっと話してみたい。
- ・ 利川市のことについてもっと知りたい(町の様子、お祭り、特産品など)
- ・ お互いの国や学校のことをクイズ形式で交流

してみたい。

## 男子駅伝チーム、県大会で力走

11月19日(金)希望ヶ丘運動公園で、滋賀県中学校駅伝競走大会が開催されました。第4ブロックの予選を突破した信楽中学校男子チームは、50チーム中28位という結果を残しました。本校にとって久しぶりの県大会出場。信楽中学校50周年記念史によれば、本校はかつて駅伝の名門校であり、昭和30年(1955年)31年(1956年)には、県優勝を果たしているそうです。来年は、名門復活に向け、上位5チームに与えられる近畿大会出場を目指して取り組んでほしいです。



### 50チームが一斉にスタート

【選手感想より】

#### あきらめない気持ち

・ 駅伝練習をしてきて思ったことは、頑張ったら頑張っただけ記録が絶対出るといこととあきらめたらいけないということです。駅伝を始めた頃はCチームでの練習で精いっぱいだったのに、しばらく練習を続けるとだんだん体が慣れてきてBチームで練習することができるようになりました。Bチームで練習していると、まだ余裕があると感じたのでAチームへ行って、いつの間にかずっとAチームでの練習が当たり前になってだんだん記録が伸びる自分を見つけ、走ることがとてもうれしいし楽しくなっていました。

予選ではまだ力が足りなくてBチームでの出場となりとても悔しくて来年頑張ればいやとあきらめている自分がいてAチームは県大会出場を決めていてやっぱりすごいなと思いました。けどまだ自分にもチャンスはあると信じて練習をした結果、練習を続ける9人のメンバーに選ばれ、(中略)1000mの選考レースの日が来て、順位で(選手を)決めると言われたので、それだけ集中して走ったところ、思ってもいなかった5番目に自分の力で入れて、とてもうれしかったし、やっぱり努力は必要だなと感じました。(1年男子)



### 努力とメンタルの大切さ

・今回学校代表として出場する駅伝で学んだことは選手の選び方と努力とメンタルが大切だということです。

実力があってもへらへらして真剣さが足りない人より、気持ちが強くて一生懸命走っている人の方がやっぱり感動できると感じました。今回、予選でも県大会でも全力で楽しんで最高でした。（3年男子）

グラウンドで練習をする駅伝チームメンバー

## 2年生ゲストティーチャー事業（「先輩 母校に帰る」）

2年生は進路学習の一環として、いろんな職業について考える学習を積み重ねています。6月の職業講話や職場体験はもちろん、9月にはバイパス工事現場見学会への参加、10月には長浜での研修、そして、12月13日には市内の起業家を招いてのゲストティーチャー授業に取り組みました。

今回お話を聞かせていただいたのは、イラスト作家「世津田スン」として活躍されている谷 陽沢さん、サッカークラブチームA.Z.Rの代表で元Jリーガーの東 崇史さん、ソフトコルギサロンhioliオーナーの波多野悠佳さんの3名。谷さんと波多野さんは本校卒業生。



世津田スンさんに質問をする生徒



ミーティングルームでの自己紹介やパネルディスカッションの後、ゲストティーチャーとともに教室に戻って、それぞれが心に残ったことをまとめました。

「前向きで取り組んできたから、失敗をあまりしなかったと思う」  
「Jリーガーはポジティブ思考の人ばかりだった。」  
という東さん。



「待っているだけでは全くダメで、自分から踏み出した時、お客さんが来てくれ始めた」という波多野さん

・人や周りのせいにしても何も変わらない。自分のせいであることがほとんどだから。自分から動いたり行動に表さなければ何も起こらない。自分の好きなことをつらぬいたり一生懸命することが大切。好きなことをすることが大事、それを仕事にしている方が今日来ていただいたから、興味のあることは放っておかず一歩足を踏み出してみたいと感じた。

・勉強ができないからとこれからのことを何もかも諦めてしまわずに自分の好きなことを全うしてやり続けていきたいと思う。失敗でもそこから学べたりすることもたくさんあると知れた。何に対しても前向きに知らないから怖いだけで、失敗してもそこから学べることがあるからしっかり挑戦すること。冒険すること。自分にしかできないことがあるから自分をしっかり信じて努力していくことが大切だと深く思った。

## 生徒会引継ぎ式（11月4日）

10月14日、新生徒会役員選挙が実施され、生徒会長には、大西那月さん（2年）、副会長には、松本瀬奈さん（2年）杉本将吾さん（1年）が選出されました。11月4日には、生徒会引継ぎ式がリモート形式で実施され、新生徒会が動き出しました。新執行部は以下の通り。（敬称略）

役職名	名 前	学年	役職名	名 前	学年
生徒会長	大西 那月	2年	図書委員長	洞 磨利愛	2年
副会長	松本 瀬奈	2年	副委員長	岸上 風都香	1年
副会長	杉本 将吾	1年	給食委員長	川北 光一	2年
書記	神山 美優	2年	副委員長	河内 陽季	1年
書記	上野 真那	1年	環境委員長	岩永 はな	2年
会計	一谷 優希	2年	副委員長	中切 響紀	1年
会計	中野 誉一	1年	福祉委員長	村木 日向子	2年
議長団	谷井 秋星	2年	副委員長	徳田 唯里	1年
〃	反田 あすか	2年	健康委員長	洞 海來斗	2年
〃	糸数 亜羅太	1年	副委員長	立川 鈴	1年
〃	濱瀬 蓮聖	1年	広報委員長	宮脇 琥珀	2年
			副委員長	大久保 椿	1年

**みんなが安心して生活できる 学校づくりに向け生徒会も取り組みます。**



引継式もリモートで行いました。

## お知らせとお願い（保護者の皆様へ）

### ◇卒業式は3月15日（火）午後

市教育委員会との調整により、今年度の市内中学校卒業式については、3月15日（火）午後で開催することになりました。3年生の保護者の皆さんは、おつもりをお願いします。

### ◇SNS や出会い系サイトに更なる留意を！

県内でも出会い系サイトによって中高生が被害を受ける事件が複数発生しています。先日の校長会において、甲賀警察署から市内中学校長に対して、各学校で生徒に対して注意喚起指導をするよう要請も受けています。終業式でも生徒に話をしていますが、SNS上で知りあった人とむやみに出会ってはいけないこと、スマホは家の人と決めたルールを守って使用することを、ご家庭でも再度お子さんに話してくださいませようお願いします。

### ◇8:00以降登校にご協力ください。

朝の登校時間について、公共交通機関利用者以外の方は、できるだけ、8:00～8:30の間に登校するようご協力をお願いします。公共交通機関利用者の登校に対しては、従来から見守り職員を配置しておりますが、用事のない生徒が早くから登校することが増え、早朝に学校にいる生徒数が増えることにより、職員の目が届かない時間と場所が増えること、また、校内での事故やトラブル等が発生した時に対応できる職員体制が十分に組めないことなどから、職員が少ない時間帯に登校する人数をできるだけ少なくすることにより、生徒が安心して学校生活を過ごせる環境を守っていきたいと考えています。